

2006 年度

科目名 演習 I	対象学科・学年 文学部文財 3 回生	担当者 阪田 宗彦
授業テーマ 仏教彫刻		
授業の概要と目標 釈迦の肖像とされる仏像は釈迦入滅後、数百年を経て造られた。グレコ・インディア様式とされるガンダーラ仏にはじまる仏像は仏教の流伝とともに中央アジア、中国、朝鮮半島を経てわが国に伝えられた。本講ではまず流伝にしたがって国外の作品を概観し、つづいて飛鳥時代以来のわが国の仏像の流れを把握しようとするもので、一応卒論等を視野に入れて各自の論文作成を主眼に研究発表を行う。スライド・ビデオを常時使用。		
評価方法 論文のテーマ設定。項立を含めその作成過程を重視して評価する。		
テキスト 使用しない。ただし、参考文献は明示する。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 仏伝 2. 舍利荘嚴⇒スツーパーの荘嚴 3. カニシカ王の舍利容器と仏像 4. ガンダーラ仏にみるグレコ・インディア様式 5. マツラ仏 6. 中央アジアから中国への流伝 7. 朝鮮半島百済からの仏教公伝とその折の仏像 etc. 8. 飛鳥時代の仏像 9. 奈良時代の仏像・古典的様式の完成 10. 平安時代の仏像 11. 仏師定朝 12. 奈良仏師 13. 鎌倉彫刻と慶派仏師 14. 仏像彫刻のたそがれ *一年がかりで卒業論文を前提にレポートを作成するが、各自の方向の相違によって、14項目の内容は若干変化する。		